



19

A

扇の的

「平家物語」から(1)

氏 名

組

番

得 点

50

1

次の――線部の片仮名を漢字に直し、漢字は読み仮名を書きなさい。

- (1) 体育祭でキバセンをする。
- (2) 力いっぱいツナを引く。
- (3) アラシで窓がガタガタいう。
- (4) ワズかな点差で負けた。
- (5) 感にタえない。
- (6) 黒革おどしの鎧を着る。
- (7) ふところから扇を出す。
- (8) 責任感が欠如している。
- (9) 全国津々浦々を旅する。
- (10) 木の葉が水面に漂う。

(各3点×10)

2

次の古語の意味として最も適切なものを後から選び、記号で答えなさい。

- (1) 情けなし
- (2) 口惜し
- ア みじめな感じがする。
- イ 心ない。
- ウ 不愉快に思う。
- エ ぐやしい。
- オ もったいない。

(各4点×2)

3

「平家物語」の特徴の説明として当てはまるものを次のうちから三つ選び、記号で答えなさい。(各4点×3)

- ア 漢語を巧みに交えた、独特の調子とリズムのある文章である。
- イ 会話を中心にした生き生きとした文章である。
- ウ 人生をはかないものとする仏教の無常観を基調としている。
- エ 源氏側の残酷さを強調している。
- オ 武士の姿が生き生きと描かれている。
- カ 比喩や体言止めを多用している。

--	--	--



扇の的
——「平家物語」から(1)

氏 名	組	番
得 点		50

1 次の古文とその現代語訳を読んで、後の問いに答えなさい。

問一 —— 線①「扇もくしに定まらずひらめいたり」とありますが、その理由が書かれている部分を現代語訳中から探し、その初めと終わりの三字を書き抜きなさい。(完答10点)

--	--	--	--	--	--

問二 —— 線②「平家」の人々が見物しようとしているものを次のうちから選び、記号で答えなさい。(5点)

- ア 与一が陸から海に向かって叫ぶ様子。
イ 与一が扇の的をねらって矢を射る様子。
ウ 与一が扇を使って舞う様子。
エ 与一が舟の上で祈っている様子。

問三 —— 線③「いづれもいづれも」とは、何と何を表していますか。次のうちから選び、記号で答えなさい。(10点)

- ア 北風と波。 イ 平家と源氏。
ウ 与一と源氏。 エ 扇と平家。

問四 に入る言葉を次のうちから選び、記号で答えなさい。(5点)

- ア 専念 イ 執念
ウ 信念 エ 祈念

問五 与一の強い決意が読み取れる一文を古文の中から探し、その初めの五字を書き抜きなさい。(10点)

--	--	--	--	--

問六 —— 線④「射やすくなっていたのだった」を古文では何と書いていますか。古文中から十一字で書き抜きなさい。(10点)
